

事務事業シート 対象事業年度 平成 24 年度

コード

個02事10

事務事業の段階

■ 計画 ■ 事業化  事業 ■ 管理

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業 建設整備事業

政策名	1 グローバルロジスティクスの港		23年度事業・個別施策評価結果 (今後の取り組みの方向性)			責任者	企画調整室 事業担当課長
基本施策名	01 国際・国内海上輸送機能の強化		事務事業	成果	コスト		
個別施策名	02 既存コンテナ機能を再編・強化する		継続	維持	維持	連絡先	052-654-7921
事務事業名	10 鍋田ふ頭コンテナターミナル整備事業 (【再掲】コード個21事10)					連携課	計画担当、港管課、管財課、工事課、港湾工事事務所
目的	鍋田ふ頭コンテナターミナル第3バース(岸壁、航路泊地、ターミナル用地)を整備し、コンテナ機能の強化を図ります。					事業期間	平成21~23年度(岸壁) 平成21~24年度(航路泊地)
概要	整備場所:愛知県弥富市富浜 内容・規模:整備主体である国土交通省との予算及び工程管理に関する協議、及びターミナルの機能拡充を図るための用地整備(第3バース 延長250m、水深-12m、ターミナル用地11ha) 総事業費:約165億円 事業手法:直轄事業、起債事業					根拠法令等	社会資本整備重点計画 港湾整備促進法 名古屋港湾計画
事業着手時点の評価	アジア・中国物流の増加に対応するとともに、大規模地震時に物流機能を確保することができます。費用対効果については、鍋田ふ頭コンテナターミナル整備事業全体にて算出しており、費用対効果(B/C)は5.5です。					実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
24年度の実施予定	引き続き、国が泊地浚渫を行い、その内容に関して国との協議を行う予定です。					関連シート	個02事05「鍋田ふ頭用地整備事業」、個02事07「鍋田ふ頭コンテナターミナル第3バース(岸壁)整備事業」、個02事09「鍋田ふ頭コンテナターミナル第3バース(泊地)整備事業」をこの事務事業に整理統合しました。

2 DO(実施)

24年度に実施した内容・結果	国が航路泊地浚渫を行い、事業完了しました。						
コスト(年度)	単位	20(実績)	21(実績)	22(実績)	23(実績)	24(実績見込)	備考(款項目節等)
総事業費計	千円		6,051,808	4,732,600	3,578,375	660,000	(款項目節) 歳出: 建設費/整備費/直轄事業負担金/負担金、補助金及び交付金 建設費/整備費/改修費/工事請負費 (算出計算式)
国費	千円		3,143,204	2,563,908	2,200,000	440,000	直轄:本組合の負担割合は、総事業費の3分の1(その他) 23年度の事業費には、22年度における繰越分278,375千円を含みます。起債分の人件費は名管事業費に含まれます。 事業費については最終確定額ではありません。
事業会計	千円		2,908,604	2,168,692	1,378,375	220,000	
特別会計	千円						
人員費相当額計	千円		2,575	2,544	2,586	2,179	
正規職員	人		0.30	0.30	0.30	0.25	
嘱託職員	人		0.00	0.00	0.00	0.00	
合計(国費除く)	千円		2,911,179	2,171,236	1,380,961	222,179	

3 CHECK(検証)

活動・成果 指標	年度	20	21	22	23	24	最終目標	24	備考(指標の算定方法)
事業進捗率(%)	目標		36.0	42.9	22.3	3.9	(累計)100		事業進捗率(目標・実績)は、総事業費を100とした事業費(当初予算額)の割合です。 各年度の達成率は、決算額(実績)÷当初予算額(目標)×100で算出しています。
	実績		35.5	27.8	21.0	3.9			
	達成率(単年度%)		98.7	64.7	94.2	100.0			
	達成率(累計%)		35.5	63.3	84.3	88.2			
事業進捗率、達成率の補足説明	総事業費を約150億円の削減できたため、累計達成率88.2%をもって事業完了しました。								

4 ACTION(取組)

個別施策評価結果による今後の取り組みの方向性	事務事業	成果	コスト	判断理由
	完了			事業費の削減ができ、全体事業が完了したため。
個別施策評価結果を踏まえた来年度以降の取り組み				
平成24年度完了				